

2. 高齢者への対応を考える会：11月20日19時～20時30分

- (1) 佐々木から二丁目が取り組んだ直近2年間の高齢者に対応するために検討した事項について説明があった。
- (2) 続いて、この会は新たなメンバーによる新たな発想での高齢者に対する自治会の取り組みを探るための会議であることが宣告され、二丁目高齢者がこの地域で不便に感じていることについて自由に意見を出し合ってもらった。
- (3) 自由な意見交換の中で、高齢者の見守り体制の話題が大半を占め、地域が果たすべき役割の一つとしてとして、高齢者の見守りが期待されていることを強く感じた。
- (4) 以下、参加者意見の抜粋
 - 高齢者のニーズを知りたいのであれば私たちが想像をめぐらすよりアンケートを取るのが一番正確ではないか。
 - 地域行事の中に敬老会の他にも高齢者向けの行事が必要ではないか。集会所での餅つきを提案したい。
 - 一人暮らしの人が体調不良でそのことを本人が連絡できない状態となった時、そのことに気づいた人はどこへ連絡すればよいのか。私は知らない。わからない。地域の連携が不足していると感じている。地域包括へ連絡するのがよい???私をはじめ二丁目住民に『そのような場合の連絡先として包括支援』というのは全く浸透していないと思う。
 - 学区単位で高齢者見守りネットワークが始まったが、拒否する人も必ずいる。登録されていない人が災害発生時に見過ごされることはないのか。
 - 家族が隠したがる場合でも見守りネットの登録はできるのか。
 - 高齢の一人住まいやご夫婦が隣近所にいる場合、災害発生時には自然と一声かけるのではないか。
 - ご近所でのコミュニケーションが取れていれば見守りにつながる。
 - 集会所のトイレがバリアフリーになっていない。集会所トイレを高齢者も楽に使えるように改造してほしい。
 - 認知症対策としてGPS入り運動靴が販売されている。団地内でも認知症による徘徊が多くなってきたので、GPS入り運動靴が市販されていることを周知させてほしい。
 - ネットスーパーも業者により運営が異なるのではないか。それぞれの業者に注文の入れ方等を集会所でデモンストレーションさせてはどうか。